

津高東京同窓会 令和2年2月「運営委員会」記録

日 時 令和2年2月2日(日) 14:00～15:20

場 所 品川区・大崎第二区民集会所 第二集会室

出席者 (54名) (敬称略、卒年順、同一卒年内は五十音順に掲載)

S36 宮村昊、S40 櫻井隆三、宮村智、渡邊智恵子、S41 落合徹、田村正衛、脇田允夫、S43 田村知子、S44 倉岡義幸、丹羽敏春、S45 奈良谷弘、S47 今北理、中村純子、S48 石飛光基、大村寛明、小川琢也、小口貴予、後藤淳子、澤山健一、服部和子、前田眞治、前田眞理子、宮岡雅子、S49 西村修一、吉田万里子、S50 村主登、S51 森田和久、S52 尾関健一、橋爪吉博、S53 田中紀美子、田中成幸、日置俊哉、S56 金丸敦子、S57 玉井寛、S58 庄司勇木、中川法子、S59 中島厚子、長谷川佳代子、S60 新弘行、栢森信友、鬼頭由加里、末松奈緒美、羽木英貴、波田まなみ、平澤健、平田千弥、山田美香、山本昌幸、S61 林明子、松田見奈美、森祥子、S62 阪本浩一、長崎透、吉村かつら



内 容

14:00 開会 (司会進行 : S41 脇田)

◎会長挨拶 (S41 田村)

- ・皆様、お集まりいただきありがとうございます。本日は、今年の親睦パーティ企画案について、輪番幹事である昭和48年卒、60年卒の方々からご説明いただきますので、ご意見をください。
- 今年、総会・親睦パーティの案内状をなるべく早く発送したいという輪番幹事からの要望があり、案内状のデザイナー、および印刷を委託している岡三ビジネスサービス社の協力により、例年よりも二週間早めることになりました。それで出席者が増えるよう期待しています。



議題(1) 令和2年度「親睦パーティ企画案の概要」

輪番幹事 (S48年卒、S60年卒) より説明

資料1 「令和2年度 津高東京同窓会親睦パーティ企画案の概要」

資料2 「講演者 前田眞治氏の紹介」



- 輪番幹事会議を3回開催して議論した結果、この内容になった。
- キャッチフレーズ「TOKYO2020 懐かしさの中に新たな発見！ 参加することに意義がある」について
オリンピック直前の東京で恩師・旧友と語ろう、前田先生の講演を聞いて盛り上がろう、「参加することに意義がある」は陳腐かも知れないがより多くの方々を集まっていたきたい、という思いから、キャッチフレーズとした。
- 招待恩師の決定過程
高齢の恩師に東京まで来ていただくのが大変なので、S48年卒の阿部さんに依頼した。
過去に招待された方は再び来てくださる可能性が高いのではないかと思います、実績がある鈴木先生にお願いして、ご承諾をいただいた。
- 後半の席替えを「くじ引き」とした経緯
以前に「在校当時の住所別」という方式があった。すぐ近所の方なら話が盛り上がるが、そうではないことも多いし、住所を公開したくない方もいるかも知れないということで止めた。また、「クラブ別」は、部員が多いクラブは良いが、部員が少ない複数のクラブを一卓に集めてもどうか、ということで止めた。くじ引きなら公平感があり、事前調査や卓の人数合わせなどの負担も無く簡単なので採用した。ただし、卓の年齢構成が偏らないよう配慮する。
(質疑応答など)
- 年齢構成に加えて、男女比率の偏りについては配慮しないのか？
偏ったら、それもまたよし、と考えている。
- クジで決まった後半の卓を忘れてしまう場合がある。その対策は？
受付で記録しておく、名札または資料に追記する、などの方法を考える。
→後半に座る卓の明示方法について、検討継続事項となった。
- 津中と三重高女の校歌斉唱について、卒業生は出席されていないし歌詞を知らない人も多いと思われるが、続けるのか？
津高の伝統を辿ろう、という意味がある。
毎年唄っていると、歌詞を覚える。
→津中と三重高女の校歌斉唱は継続する。
- 前田先生の講演で使用する設備については大丈夫か？
資料をスクリーンに投影するためのプロジェクター2台を準備する。パソコンからWiFiで直接に接続できる機能がある。プロジェクターは、たまたま無料で借りられることになった。スクリーンは、会場の設備を使用できる。
→会場での事前動作確認などについて、後ほど詳細を詰める。
- 輪番幹事の動員は、三重県からの応援も含めて大丈夫か？
S48年卒とS60年卒を合わせて60名程度となる見込みである。

14:38 親睦パーティ企画案を全会一致(拍手)で承認した。

議題(2) 令和元年度「事務局運営の部」会計報告

資料3「令和元年度『事務局運営の部』会計報告」に沿って説明（事務局より）

- ・事務局運営のための支出はほぼ終わったので、最終的な会計報告は、この見込み数値に近いものになる。
- ・収入は会員の皆さんからの寄付金のみであるが、「寄付金推移」の数字の通り、人数、金額が減少傾向にあり、懸念している。
- ・総会の案内状が届くと、それに同封した振込用紙で寄付をしていただけるが、総会が終わると寄付がほとんどなくなるので、「寄付を通年で受け付けている」ことをホームページでアピールしている。
- ・支出は大きく三つある。一つは本部他の同窓会総会参加の交通費、二つは総会案内状関係の費用、三つは運営会議費用他である。総会案内状関係の費用が支出全体の6割を占めている。事務局としては、これまで、この費用削減に取り組んできた。案内状の郵送からメールへのシフト、出欠回答をホームページから出来るようホームページのリニューアル、また去年は金券ショップで切手を購入するなど、地道な努力をしてきている。
- ・令和元年度の繰越金は、前年度から若干増えて1,286千円となると見込んでいる。
- ・令和2年度の総会・親睦パーティ会費については、消費税のアップはあるが影響額は25千円程度であり、会費をアップする状況ではないので7千円で据え置くこととした。

(質疑応答など)

- ・寄付金の目標金額はあるのか？
目標金額ではないが、年間50万円が集まれば運営できる。
今まで、寄付金を増やすというよりも、支出を削る方向で対応してきた。予算があれば、寄付へのお礼状に今よりも綺麗な写真をつけるなど、やりたいことはある。
- ・寄付者134名の内訳は、どうなっているか？ 総会当日に会場で寄付する人を増やすしかないのではないのか？
昨年、総会会場で61名の方から寄付いただいたが、一昨年に続き、寄付いただいた方の約半数が総会当日寄付していただいている。

議題(3) その他

(3)-1 学年委員について（事務局より）

- ・資料4「学年委員名簿」のとおりです。変更時にはご連絡ください。

(3)-2 津高140周年記念行事について（本部同窓会副会長より）

- ・資料「津高140周年記念行事の進捗状況」をご覧ください。11月1日（創立記念日）には、是非、母校へ足を運んでいただきたいと思います。現役のクラブにも前向きに検討してもらって、少しずつ盛り上がってきています。

(3)-3 親睦パーティでの講演者、前田眞治さん（S48卒）より

- ・「炭酸」を研究して40年になります。皆さんに楽しんでいただける講演にしたい。よろしくお願いします。



15:24 閉会